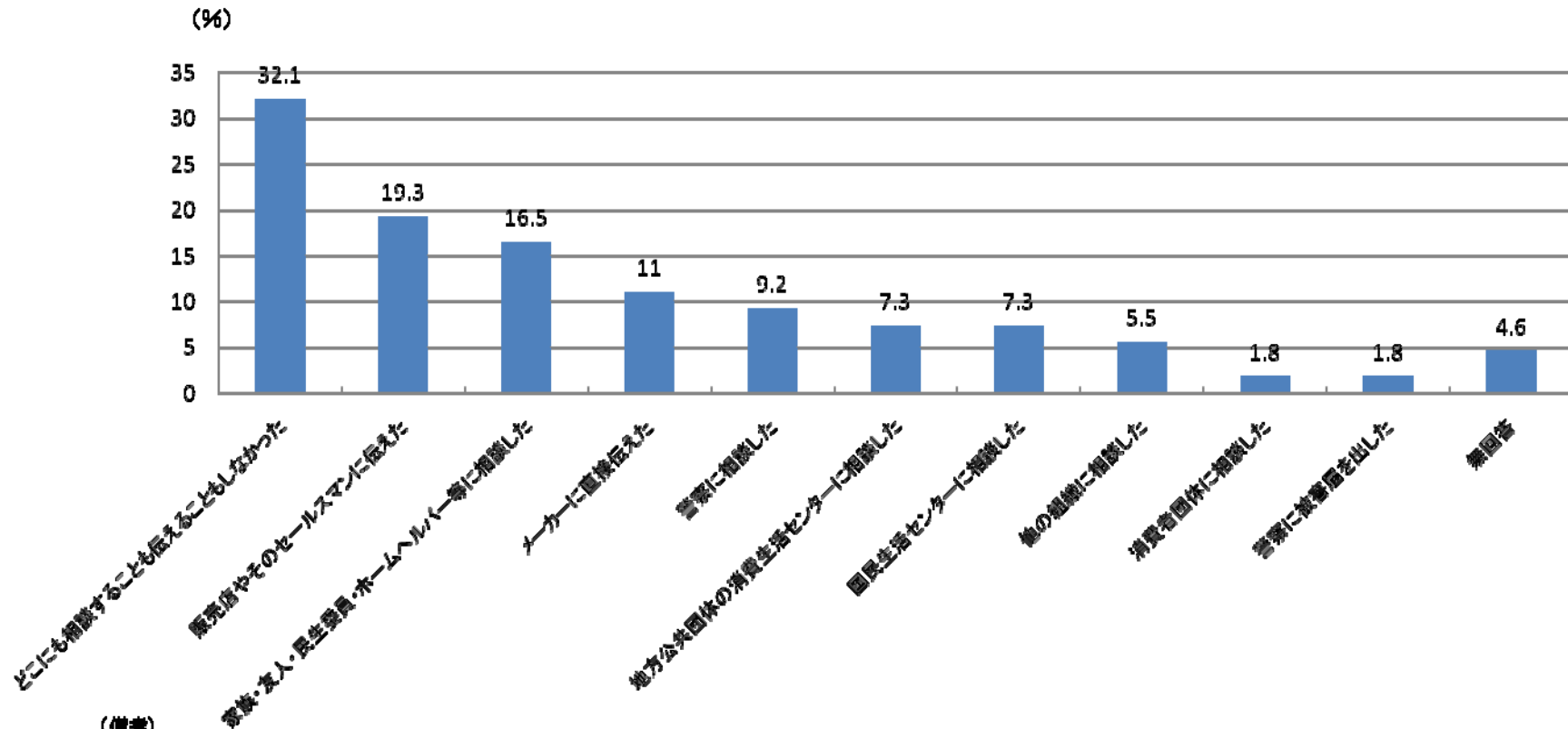


●消費者被害の相談状況について(内閣府「国民生活選好度調査」(平成19年度)より)
 ・平成18年(2006年)1年間に消費者被害を受けたことがあると回答した人に、その被害について、どこかに相談したり、伝えたりしたか尋ねたところ、「どこにも相談することも伝えることもしなかった」と回答した人の割合が32.1%であった。

第1図 3分の1の人が被害に遭ってもどこにも相談していない

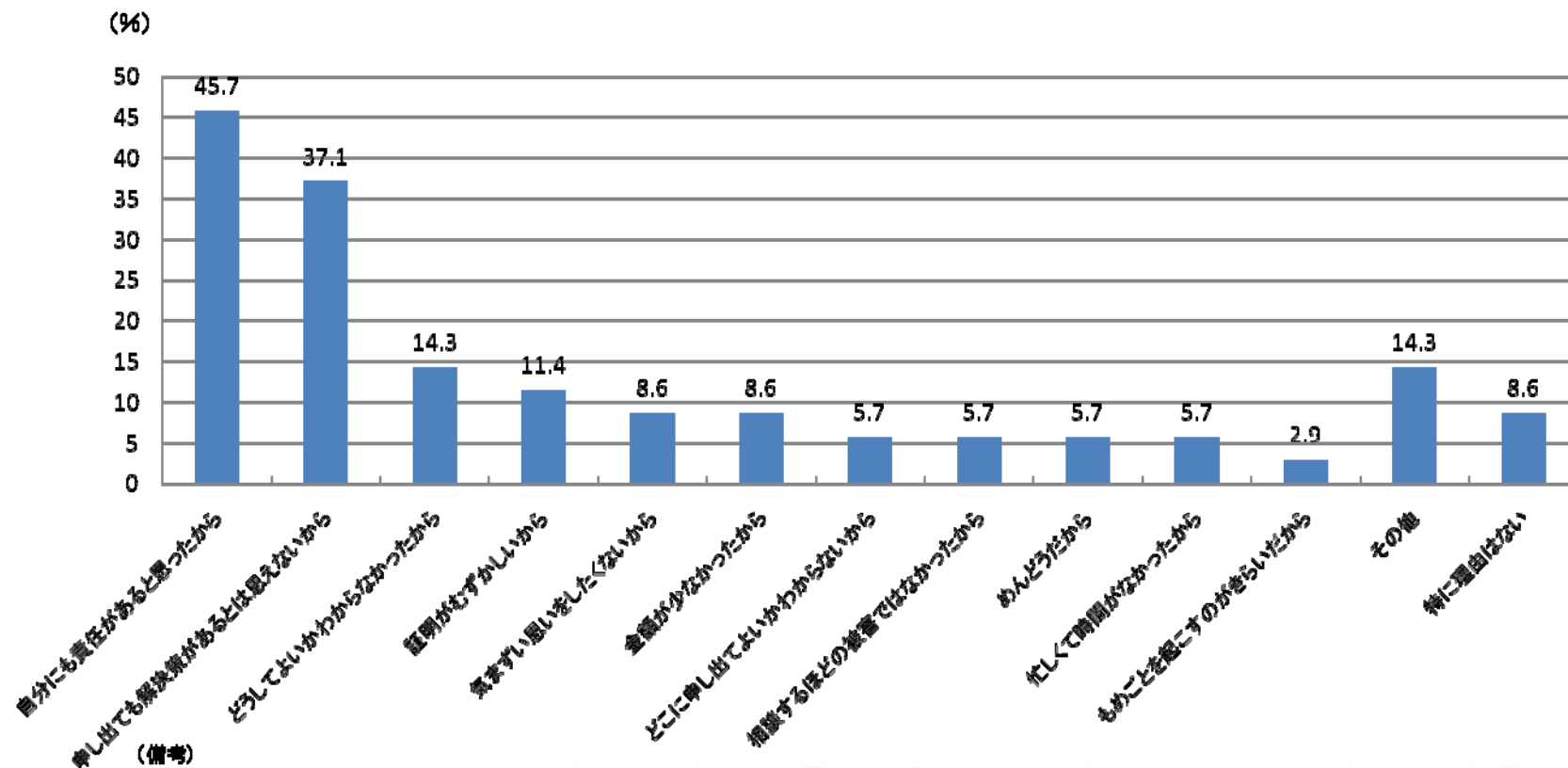


(備考)

1. 「問17 その被害は、どのような商品・サービスに関するもの、またはどのような振り込め詐欺(オレオレ詐欺等)に関するものでしたか。複数の被害に遭った場合は、最も大きな被害を一つだけお答えください。一つの事業者とのトラブルを一つの被害とお考え下さい。」という問に対して回答した内容に対する問。
2. 回答者は、全国の15歳以上80歳未満の男女109人。

●消費者被害の相談状況について(内閣府「国民生活選好度調査」(平成19年度)より)
 ・平成18年(2006年)1年間に消費者被害を受けたことがあると回答した人で、その被害について、どこにも相談することも伝えることもしなかった人に、その理由を尋ねたところ、「自分にも責任があったから」と回答した人の割合が45.7%、「申し出ても解決策があるとは思えないから」が37.1%であった。

第2図 被害に遭ったときに相談しなかった理由



(備考)

1. 「問20 その被害について、どこかに相談したり、伝えたりしましたか。」という問に対して、「どこにも相談することも伝えることもしなかった」と回答した人に対する問。
2. 回答者は、全国の15歳以上80歳未満の男女35人。